Doc. 1745

(一)

10

外務省

機密

拝啓陳者金本位制ニ對スル各國ノ動向ニ關スル在外公館ヨリノ來電寫一括大藏大臣ノ高覽ニ供シ度ク依命右茲許送付申上候間可然御取計相煩度此段得貴意候　敬具

昭和九年十一月三十日

松島　外務省通商局第二課長

石渡　大藏大臣官房秘書課長　殿

外務省

0000 0288
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

廣田外務大臣宛在波蘭伊藤公使發電報寫

（十一月十五日着）

波蘭政府經濟政策ノ根本方針ハ嘗テ二回迄經驗シタル「インフレーション」ニ依ル國內不安ヲ再ヒ招來セサル樣貨幣價格ノ維持ニ全力ヲ盡スニ存スルヲ以テ現在ノ經濟政策（現米國ノ政策トハ反對ノ方向ヲ取ル）及外國貿易統制ノ實行モ右ノ必要ニ出テ居レリ從テ目下ノ處當國ニ於テハ特別ノ事情無キ限リ現制度維持ニ變化無キモノト察セラル

は（十）

外務省

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

廣田外務大臣宛在和蘭武富公使發電報寫

（十一月十五日着）

和蘭ノ關スル限リ大体ノ形勢ハ金本位維持ニ定マリ居ルモノト認メラルル處最近ニモ議會ニ於ケル來年度豫算案討議中「コライン」首相ハ平價切下又ハ金本位離脱ニ關スル得失論ハ既ニ論議盡サレ其ノ弊害明カナルヲ以テ政府ハ引續キ現在ノ金本位制ヲ固持スヘキ旨聲明シ尚大藏大臣モ金本位維持ノ必要ナル所以ヲ力說シ政府與黨代表ハ何レモ政府政策ヲ支援スヘキ旨表明シ居リ左黨タル社會民主黨領袖スラ個人的ニハ金本位離脱ハ時期既ニ晩ク金本位制維持ニ贊成ノ外ナキヲ述ヘ居ル位ニテ差當リ國外ノ情勢殊ニ佛白等金本位國ノ政策ニ大變化無キ限リ當國政府ノ既定方針ニ變化ナキ推移ヲ示シ居レリ

廣田外務大臣宛在米齋藤大使發電報寫

（十一月十六日着）

米國ニ於テハ曩ニ銀購買法ニ依リ複本位制ヲ採用スルニ至リシ以來必然的ニ弗貨ノ「インフレイション」行ハルヘキモノト見ラレ殊ニ去ル八月大藏長官「モルゲンソー」カ其ノ「ラジオ」演說中ニ於テ前記弗貨純分切下ニ依リテ生シタル金評價差益二十八億ヲ結局政府ノ通常歲入ニ繰入ルコトトナルヘキ旨ヲ聲明シ暗ニ爲替平衡資金トシテ貯藏セラルヘキ右金額ヲ本年未償還ニ達シ居ル四分ノ一公債及自由公債借款ノ爲ノ資金乃至復興救濟事業ノ爲ノ新起債ノ爲ニ流用セントスルニ非スヤトノ臆測ヲ與ヘタルコトハ次テ新聞記者トノ會見ニ於テ大統領カ物價ヲ騰貴セシムルノ必要ヲ說キタルコトト相俟ツテ「インフレイション」ハ或ハ避ケ難キ事實ナラントノ觀測一般ニ行ハレタルカ九月ニ入ルニ及ヒ弗ノ對佛爲替低落シタルニ際シ前例ヲ破リテ大藏省カ「ギアランテー、トラスト」會社其ノ他有力銀

外務省

0000 0291
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

行數行ニ對シ約一千萬弗ニ達スル金ノ現送ヲ許可スルニ至リ初メテ「インフレクション」ニ對スル一般ノ杞憂漸次消散スルニ至リタル模様ナリ然レ共未タ以テ弗貨安定ニ關スル政府ノ眞意ヲ捕捉スルコト困難ナル實狀ニ在リ殊ニ大統領カ累次ノ政策發表ニ當リ一般ヨリ根强キ期待アルニ拘ラス通貨政策ニ關シテ明言スルコトヲ避ケ居タル爲政府ノ意嚮ヲ察知スルコト愈難カリシ次第ナルカ最近ニ至リ「インフレイション」ニ對シ豫テヨリ反對ノ意向ヲ表明シ居タル銀行家側ト政府トノ關係密接ヲ加ヘタルコト（華府ニ於テ來ル二十二日政府當局ト有力銀行家側トノ間ニ對外貿易増進ニ關スル協議會開催セラルル筈）

十月下旬大統領カ華府ニ於テ開催セラレタル銀行家會議ニ於テ個人利得（Private Profit）ハ之ヲ尊重スヘシトノ演説ヲ爲シタルコト自由公債ニ對シ政府カ二十億弗ニ相當スル額ヲ拂戻スヘキ旨ヲ聲明シタルコト等ノ事實ハ政府カ弗貨安定ノ方針ノ下ニ進ミ居ルモノナリ

トノ觀察ニ有力ナル資料ヲ提供シタル處政府ノ弗貨安定策ヲ一層如實ニ示シタルモノハ去ル十二日大統領裁可濟ノ大藏省令ヲ以テ本年一月十五日ノ執行令ヲ改正シ何人ト雖金貨又ハ金證券ヲ除ク通貨（銀貨ヲ含ム）ノ國外輸出ヲ自由ニ許スニ至リタルコトニシテ金貨又ハ金證券ト雖大藏省ノ許可ヲ得レハ國外搬出ヲ爲シ得ルコトトナリ居リ右大藏省ノ許可ハ特別ノ事情ナキ限リ之ヲ與フル方針ナル趣ニ付弗ノ地位ハ殆ト本年一月以前ノ平常狀態ニ復歸シタルモノト觀テ差支ナキ狀態ナリ

尚政府ハ農産物ノ限産ニ依リ價格維持ト農民ノ購買力增進ヲ計リタル舊來ノ政策ヨリ轉シテ農産物ノ市場ヲ廣ク海外ニ求ムルコトノヨリ良策ナルニ氣付キ折角互惠條約ノ締結ヲ急キ居ル今日弗貨ノ安定ハ其ノ先決問題ナリト爲シ居ル模樣ナルニ付現下ノ狀勢ヲ以テセハ世界經濟界ニ著シキ變動ナキ限リ弗貨ハ安定スルモノト認メラル

0000 0293
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

廣田外務大臣宛在佛三谷代理大使發電報寫

（十一月十六日着）

佛國財政當局ハ弗ノ下落四割ニ止マリ英米「クロスレイト」五見當ヲ保ツ限リハ佛國内ノ騷動金「ブロツク」中佛國以外ノ國ノ「オフ」等ノ外的原因ヲ除キ純粹ナル財政技術ヨリシテ金本位維持ノ確信アル趣ナル上現下當國民衆ノ歸趨ヨリ見テ法ノ「オフ」ハ直ニ革命ヲ誘發スル危險濃厚ニシテ且社會黨及一部政治家工業者ノ「オフ」要望ニ對シテハ各國貿易制限ノ現狀ヨリ見テ法ノ「オフ」モ輸出促進ノ具トナラス國内産業狀態ノ改善ニ資セサルヘシトノ反對論有力ナルヲ以テ金本位維持ヲ政府ハ絶對必要ト爲シ居ルモ當國政情ハ表面小康ヲ呈シ居ルニ拘ラス將來ヲ非觀スル向モアリ又瑞西ノ行ヘル「パーシヤル、オフ」ト白耳義ノ「オフ」近カルヘシトノ豫想等ヨリ金「ブロツク」ニ對シ危惧甚大ニシテ一般人心ハ頗ル神經質トナリツツアリ加フルニ最近當國爲替市場ノ取引額僅少ナル爲投機ニ依リ

法ノ値下リヲ誘發スル機會非常ニ増大シ來リ居ルニ付内外何等カノ變動アランカ直ニ思惑ニ依リ法賣ヲ誘發シ延イテ佛國内紙幣ノ退藏（三百億法ト見積ラル）者ノ外貨買トナリ當然「オフ」ノ已ムナキニ至ルヘシト認メラル

廣田外務大臣宛在伊張間代理大使發電報寫（十一月十七日着）

伊國政府ノ政策ハ飽迄金本位制ノ維持ニアルコト累次ノ聲明等ニ照シ疑無ク且右ニ對シ國內ニ何等ノ意論ナシ故ニ問題ハ專ラ客觀的情勢カ果シテ如何ナル程度迄事實上右政策ヲ支持シ得ルヤニ存スル處其ノ概要左ノ通

一、國際貸借ハ近年入超續キニシテ客年入超約十四億「リラ」ナリシモノ本年上半期ニ於テ既ニ約十五億「リラ」ニ達シ貿易外受取勘定ハ言フニ足ラス

二、豫算ハ三年以來不足ヲ續ケ本年度不足見積額約二十九億七千萬「リラ」ハ其ノ後ノ努力ニ依リ約十六億「リラ」程度ニ喰止メ得ルカ如キモ其ノ補塡税源涸渇ノ今日公債ニ依ルノ外途無キカ如シ

三、公債ハ外債八千二百萬弗ヲ除キ全部內債ニテ合計千三十二億五千萬「リラ」其ノ內短期債七百十二億六千萬「リラ」ナルカ右ハ國

内債務ナレハ引上ノ脅威ヲ受クルコト無シ

四、正貨準備ハ其ノ法定率四割ニシテ現在四割六分ヲ保有スルモ客年末金及金證券合計約七十三億九千萬「リラ」ナリシモノ本年九月末ニハ約六十二億四千萬「リラ」ニ減少シ尚漸減ノ傾向ニアリ

五、紙幣流通高ハ本年九月末百三十四億五千萬「リラ」ニシテ客年末ニ比シ約二億「リラ」ノ増加トナリ政府ノ「デフラシオン」政策ヲ裏切リ爲ニ生産費ノ遞減思ハシカラス輸出ノ増加見ルヘキナク失業者數モ亦八十萬ヲ超ユ

六、「リラ」相場ハ平價百ニ對シ客年平均九九ナリシモノ本年ハ平均九六、九トナリ最近ハ九六ヲ輕ク上下シ居ル有樣ナリ

以上ハ主トシテ國内的條件ノ動向ナルカ國際的情勢モ亦本件ノ決定的要因タルコトアルヘキハ勿論ナリ

0000 0297
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

廣田外務大臣宛在瑞西澁澤代理公使發電報寫

（十一月十八日着）

瑞西國ニ於ケル金本位制ノ維持ニ關シテハ右カ元來割高ナル當國物價ノ低落ヲ阻止シ之カ爲輸出不振ニ陷リ居ル實狀ニ鑑ミ一部ニ非難ノ聲アルモ食料品原料品ノ大部分ヲ輸入ニ俟ツ瑞西トシテハ輕々シク「オフ」シ難キ事情アリ且「インフレ」政策ハ必然的ニ經濟財政ニ動搖ヲ來シ社會狀態ヲ不安ナラシムル惧アレハ最近ニ於テモ政府ハ金本位ヲ保持スヘキコトヲ屢次聲明シ居リ一方中央銀行ノ準備金モ潤澤ニテ貿易狀況モ稍改善ノ徴アルニモ顧ミ今後特別ノ事態發生セサル限リ引續キ金本位制ヲ維持シ貿易「バランス」ハ關稅引上、輸入制限等ノ手段ニテ匡正スル方針ナリト觀測セラル尚消息通ノ意見ニ據レハ少クトモ佛國カ金本位制ヲ棄テサル限リ瑞西モ之ヲ固守スヘク此ノ點ニ關シテハ當事者間ニ諒解アリトモ稱セラル

尚最近當國「ホテル」業者ハ外貨支拂ニ關シ英貨一磅ヲ一律ニ十六

0000 0298
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

法ノ相場ニテ受入ルルコトヲ決議シタルカ（目下實際ノ相場ハ十五法四五十）右ハ當國カ二種ノ貨幣制度ヲ採用スル下心ニテ金本位政策變更ノ前徴ナルヘシトノ批評アリタルモ當局筋ハ右ハ全然「ホテル」業者限リノ私的申合ニテ貨幣制度トハ何等關係ナキモノナリト釋明セリ

廣田外務大臣宛在白有田大使發電報寫

（十一月十九日着）

白耳義ノ金本位維持方針ハ從來政府ヲ始メ各政黨其ノ他一般輿論ノ支持ヲ受ケ來リタル處近來主トシテ工業家側ノ「インフレイション」要求アリ銀行中ニハ之ニ贊成スルモノモアル模様ナルノミナラス「エコードブールス」ノ如キ有力新聞スラモ「インフレ」ヲ必要トスルニ於テハ成ルヘク速ニ之ヲ實行スルニ如カスト論シ居リ政府ノ財政經濟政策ノ行詰ト共ニ一般ニ多少ノ不安ヲ懷カシムルニ至リタルハ疑ナキ處（英國市場ニ於テ數ケ月來法ノ先物取引ニ於テ一磅ニ付二法安ニ賣出シ居タルモノアリタル由）元來工業家筋ノ要求ハ外國市場ニ於ケル競爭ノ爲生產費ヲ低下セシムルニ存シ政府モ之カ實現ニ努力シ來レルモ最近農業保護ノ結果物價ハ却テ昂騰ノ傾向ヲ示シ從テ工業家ノ希望スル賃銀ノ値下モ又豫算均衡上政府ノ必要トスル減俸及失業手當減額モ實行困難トナリ「ブロックビル」內閣辭職ノ

0000 0300
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一困トナリタル次第ナルカ然ラハトテ金本位離脱ノ政策ヲ採ルコトニ對シテハ

(一)白國ハ食料ヲ始メ原料ノ輸入國タル事實

(二)各國ノ貿易制限

(三)各國ノ爲替低落ニ對スル對抗手段

(四)外債利拂ノ關係上豫算ノ不均衡ヲ一層大ナラシメ且一般國民ヲシテ甚大ナル犧牲ヲ拂ハシムルモノナリトノ強キ且一般的ナル反對依然タルモノアリ（白國ニ於テハ社會黨ト雖「オフ」ニ反對シ居レリ）

然ラハ政府及國民多數ノ意見ニ拘ラス「オフ」ヲ餘儀ナカラシムル事情アリヤト言フニ先ツ財政問題トシテ歳入ノ減少ヨリ生スル豫算均衡ノ點ハ其ノ額モ五億法位ニ過キサルノミナラス愈々トナレハ或ハ公債等ニ依リ切拔ケ手段モアルヘク又對外貿易ハ不振ニハ相違無キモ「バランス」取レ居ルノミナラス本年度ニ入リテハ寧ロ幾分好

轉シツツアルカ如キ現狀ナレハ是等ノ方面ヨリ今直ニ金本位維持ヲ困難ナラシムルカ如キ急迫ノ事態生ス可シトモ思考セラレス尚本件ニ付新內閣成立ト共ニ重ネテ申進ムル機會モ有ルヘシ

0000 0302
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

廣田外務大臣宛在獨杉下代理大使發電報寫

（十一月廿一日着）

當國或方面ニ於テハ麻克貨切下ヲ主張シ居ルハ事實ナルモ政府及「ライヒス、バンク」ハ屢々麻克貨ノ維持ヲ確定ノ方針トシテ聲明シ居リ「ナチス」政府トシテハ本件問題ハ曩ニ「インフレーション」ノ苦驗ヲ嘗メタル民心ノ安定ノミナラス失業救濟事業ノ遂行乃至債券ノ實價維持上極メテ深甚ナル關係アルタケニ政府自身ニ關スル死活問題トシテ右方針維持ニ全力ヲ盡シ居レリ從テ假ニ金「ブロック」崩壞、磅及弗爲替カ或程度ニ確實ニ安定スル場合失業救濟事業ノ完成其ノ他非常ナル外的影響等アリテ政府トシテ是等事由ニ責任ヲ轉嫁シ得ルカ如キ場合ハ兎ニ角然ラサル限リ當國ハ左ノ理由ニ依リ現狀ヲ維持スルモノト思考セラル

(一)麻克貨ノ下落ヲ危惧シ現ニ民間一般ニハ預金ヲ動産不動産等ニ振替フル傾向アルヤニ傳ヘラルルモ國民貯蓄銀行預金高一九二四年

六億內外ナリシモノ現在百二十二億ニ上リ居ル事情ニ鑑ミ平價ノ切下ハ財的ノミナラス一般人心ニ甚大ノ打擊ヲ與フルコトトナルヘシ

(二)麻克切下ニ依リ對外元利及輸入原料支拂額ノ增加ノ結果國內物價及賃銀ノ騰貴ヲ招來スヘシ

(三)現政府ノ貿易政策上磅及弗ニ對スル追隨ニ依リ貿易促進ノ積極的效果期シ難ク又當國貿易ノ主ナル出超國カ金「ブロツク」ナル現狀ニ於テハ麻克切下ハ不得策ニシテ結局何等之ニ依リ利スル所無カルベシ

廣田外務大臣宛在倫敦松山商務參事官發電報寫

（十一月廿一日着）

金本位制ノ前途ニ對シ隨時行ハルル種々ノ臆測ハ所謂新聞雜誌財政通ナル者ノ我田引水的議論ニ依リ醸成セラルル所鮮カラサルモ之等ノ議論モ要スルニ金本位國極度ノ産業疲弊、一般經濟界ノ復活困難トノ悲觀的事象ニ胚胎スルモノナルカ最近佛、白ニ續ヒテ起レル政變ヲ契機トシ金本位制ニ對スル不安ハ一層深度ヲ加ヘタルモノノ如ク殊ニ産業振興策ニ苦慮スル白耳義財政對策ノ動向ハ注視ノ焦點トナリ居ル次第ナリ、尤モ過去ニ於ケル佛、白兩國爲政家ノ金本位制維持ノ熱意ハ殆ント宗教的トモ云フヘク而モ現下ノ實情ニ即スルニ左ノ理由ニ依リ兩國ニ於ケル金本位制ニ動搖ヲ生スルカ如キコトナカルヘシト見ラルルヲ普通トス

一、金準備豐富ナルコト

二、英、米トモ法ノ再切下カ延テハ國際的ニ通貨動搖ヲ招來スルハ明

外務省

カナルヲ以テ之ヲ回避セントスル念強キコト即チ從來ノ實際ニ徵スルモ英、米兩國ノ爲替平衡資金ハ（素ヨリ之ヲ以テ法ノ地位ヲ擁護スルコトハ不可能ナルモ）法ノ不動ニ對シ著シク英、米ニ作用シタルコト

三、佛、白トモ貿易尻及財政整理策ハ漸次改善ノ方向ニアルコトサレハトテ兩國共國內ノ景氣振興策トシテハ何等特ニ確信ヲ以テ樹立サレタルモノナク忍耐ニ愬ヘ國家ノ難關ヲ突破セントスルモノニシテ一方ニハ一日モ早ク英米佛間ノ爲替安定協定成立ヲ期待シ居ルモノノ如シ

次ニ和蘭ト瑞西ハ佛、白ト事情ヲ異ニシ戰後モ通貨切下ヲ行ハサリシ故切下ニ對スル心理ハ自カラ異リ而モ國內的ニハ產業不振ニ困却シ居ル實狀ナルヲ以テ之カ打開策トシテノ金本位制離脫ハ當然別箇ノ見解ヨリ政策的ニモ講究セラルル問題ナルヘク兩國共通貨切下ニ對シテハ比較的冷靜裡ニ終始シ居ル點ヨリ見テモ隱然其ノ方向ニ進

ムノ素地ヲ作リ居ルモノノ如シ
右ハ刻下諸材料ニ基ク觀察ナルカ尚當國ニハ米國ノ振興策カ景氣回復ニ效果ナク從テ英米間ノ爲替カ依然不安定ノ儘永ク持續センカ「ゴールド、ブロツク」ノ崩壊ハ早晩免カレサルモノナリトシ米國ノ經濟界動向ニ最重キヲ置クモノ尠カラス
本問題ニ關シ一般市場ハ少クトモ表面的ニハ未タ批判的ニシテ危機突發ヲ目捷ニ豫想シ警戒ヲ嚴ニスルカ如キ氣配ハ見エス（了）

廣田外務大臣宛在倫敦松山商務參事官發電報寫

（十一月廿三日着）

白耳義貨ハ Theunis 内閣成立ノ報ヲ入レ一般ニ安定ノ念ヲ與ヘ落調一時引返シタルモ再ヒ軟化シ先物割引一時三十山ヲ唱ヘタルカ更ニ三十七半ニ落チ込ム一方ニハ同氏ノ内閣ハ切下運動緩和ノ爲ナリト解シ新内閣カ「カソリツクリベラル」聯携政府ナルニ徴シ切引ケ政策ハ當分棚上ケト觀測スル向モナキニアラサルモ他方切下ケヲ必シモ反對セサル一派トシテ知ラレ居ル Francqui 氏ノ無任所入閣ヲ先行懸念ノ材料ト爲スモノモアリ「ベルガ」ニ對スル懸念ハ依然解消セサル模様ニ觀取セラル

（了）

廣田外務大臣宛在紐育澤田總領事發電報寫

（十一月二十四日着）

十一月十七日ノ「チエーズナショナル」ノ「オールドリツク」ハ英米共同シテ佛國其ノ他ノ金本位ヲ維持セシムル爲援助セントシ居ル聞込アリタルヲ語リ十八日「レイデンバーク、タールマン」商會ノ「クツヤグ」ハ米國ノ現在ノ對歐貿易狀態ニ變化ノ起ルコトヲ好マサルカ故ニ佛國其ノ他ノ「オフ」ヲ歡迎セスト信スト述ヘ二十日「クーンローブ」ノ「ストラウス」ハ米國對外貿易上ノ見地ヨリ考フル弗價ノ比較的安定シタル今日ノ狀態ニ變化ヲ來スコトハ得策ナラスト信ス從テ自分トシテハ歐洲ノ金「ブロツク」ノ崩壞セサルコトヲ希望シ居ル次第ナルカ昨今ノ新聞報道ニ依レハ「フエデラル、リザーブ、ボート」ハ白耳義ノ爲ニ二千五百萬弗ノ「クレヂツト」ヲ設定セリトモ傳ヘラレ旁米國政府トシテモ歐洲金「ブロツク」ノ崩レサル樣援助ヲ吝マサル方針ナラスヤト考フルト云ヒ又二十三日「

ナショナル、シティバンク」ノ「ハート」モ英國トシテモ成ルヘク金本位維持國援助ニ努ムルニアラスヤト考ヘラレ又其ノ後ノ形勢ヲ判スルニ今日「オフ」ノ危險ハ此ノ一週間前ヨリモ少クナレリト語レルカ唯十九日「モルガン」商會ノ「ミッチエル」ノミハ佛國ハ金維持ノ爲少クトモ來年一月ノ「ザール」ノ人民投票終了迄ハ凡ユル工面ヲ爲スヘキモ今日世界ノ有力ナル大部分ノ國カ「オフ」シ居ル際ニ歐米ノ一角ニ金「ブロック」ノ存在スルコトハ恰モ人體ノ一部ニ癌ヲ生シタルカ如キモノニシテ世界財政經濟ノ圓滑ナル運行ヲ阻害スルコト甚タシク國際經濟會議ヲ開クモ成果ヲ擧ケ得サルハ之カ爲ニシテ自分ハ成ルヘク速ニ手術ヲ施シテ此ノ癌ノ除去セラレンコトヲ希望シ居レリ而シテ是等金「ブロック」國ニ對シ「オフ、ゴールド」ノ結果其ノ當座ニ於テハ米國ノ對外通商上不利ナル影響アルヘキハ想像ニ難カラサルヘキモ右ハ一時的ノ現象ニ過キス世界各國トモ「オフ、ゴールド」シテ同様ナル立場ニ立ツ事ハ結局ハ世界財

政經濟ノ健全ナル建直シヲ期スル所以ナルカ故ニ米國トシテモ右ノ一時的不利ハ之ヲ忍ンテ永遠ノ策ヲ樹ツルコト得策ナリト信ストテ「オフ、ゴールド」贊成論ヲ唱ヘ居タリ

二十一日聯邦準備銀行側ニ岡田日本銀行監査役カ問合セタル處ニ依レハ同銀行側ニ於テハ伊國ハ嚴重ナル爲替管理ヲ行ヒ居リ又佛國ハ多額ノ金ヲ所持シテ「テクニカリー」ニ金本位ヲ維持スルニ相當強キ立場ニ在リ更ニ和蘭ノ立場ハ脆弱ナルモ金本位維持ハ尚國民多數ノ支持ヲ受ケツツアルカ如キ狀態ナレハ其ノ内政狀態ニ急激ナル變化無キ限リ早急ニ金「ブロック」ハ崩壞セサルモノト解シ居レリトノコトナリ

尚「フエデラル、リザーブ」ノ毎週發表スル貸借對照表ニ依レハ同行ノ金ヲ擔保トスル貸付(foreign loans on gold)ハ十七日一千六百萬弗ニ達セルカ(二十二日一千萬弗ニ減ス)右ハ全部白耳義ニ對スル「クレデイツト」ナルヤ否ヤハ不明ナルモ之ヲ以テ一般ニハ米

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp
0000 0311

國政府カ白耳義ノ金本位維持援助ヲ試ミツツアルモノナリト解セラレ居レリ

秘

（庫）昭、一一、九、二九　フル

法ノ金本位離脱ニ關スル件

第一、現　狀

(一) 佛　國

(イ) 廿六日早曉英米兩國間トノ通貨價値調整ニ關スル協定（別紙一參照）ヲ發表ス

(ロ) 法切下關係法案（別紙二參照）ヲ廿八日議會ニ提出セリ（廿八日否決）內容左ノ通リ

法金純分ノ三四%三五乃至二五%一九方切下

百億法ノ爲替平衡資金設定

佛蘭西銀行ニ對スル外貨賣買權限ノ賦與

大藏省

0000 0313
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp